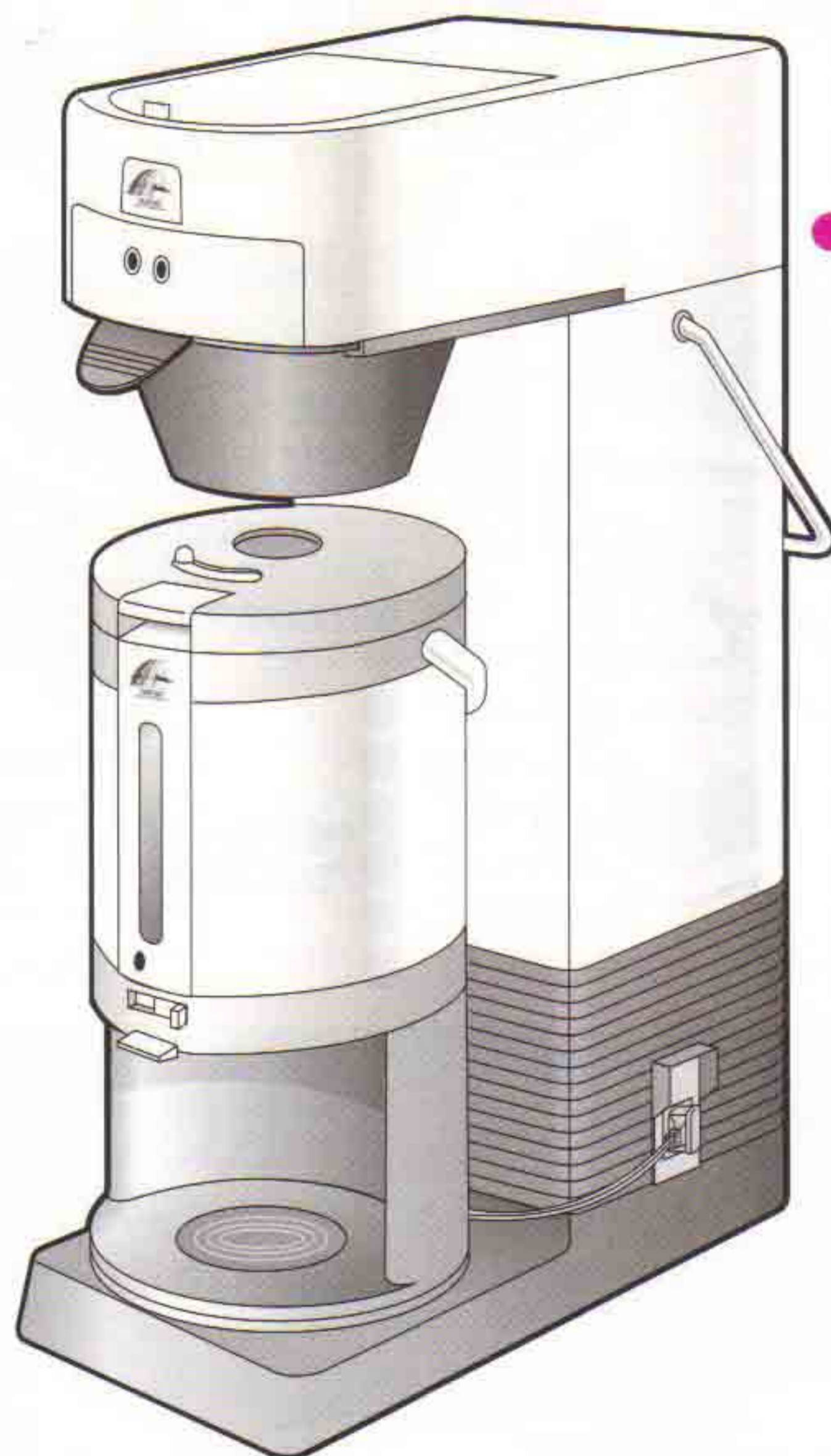


COFFEE BREWER FLEX UBF-90

コーヒードリャーワー取扱説明書



UNIMAT
OFFISCO CORPORATION

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

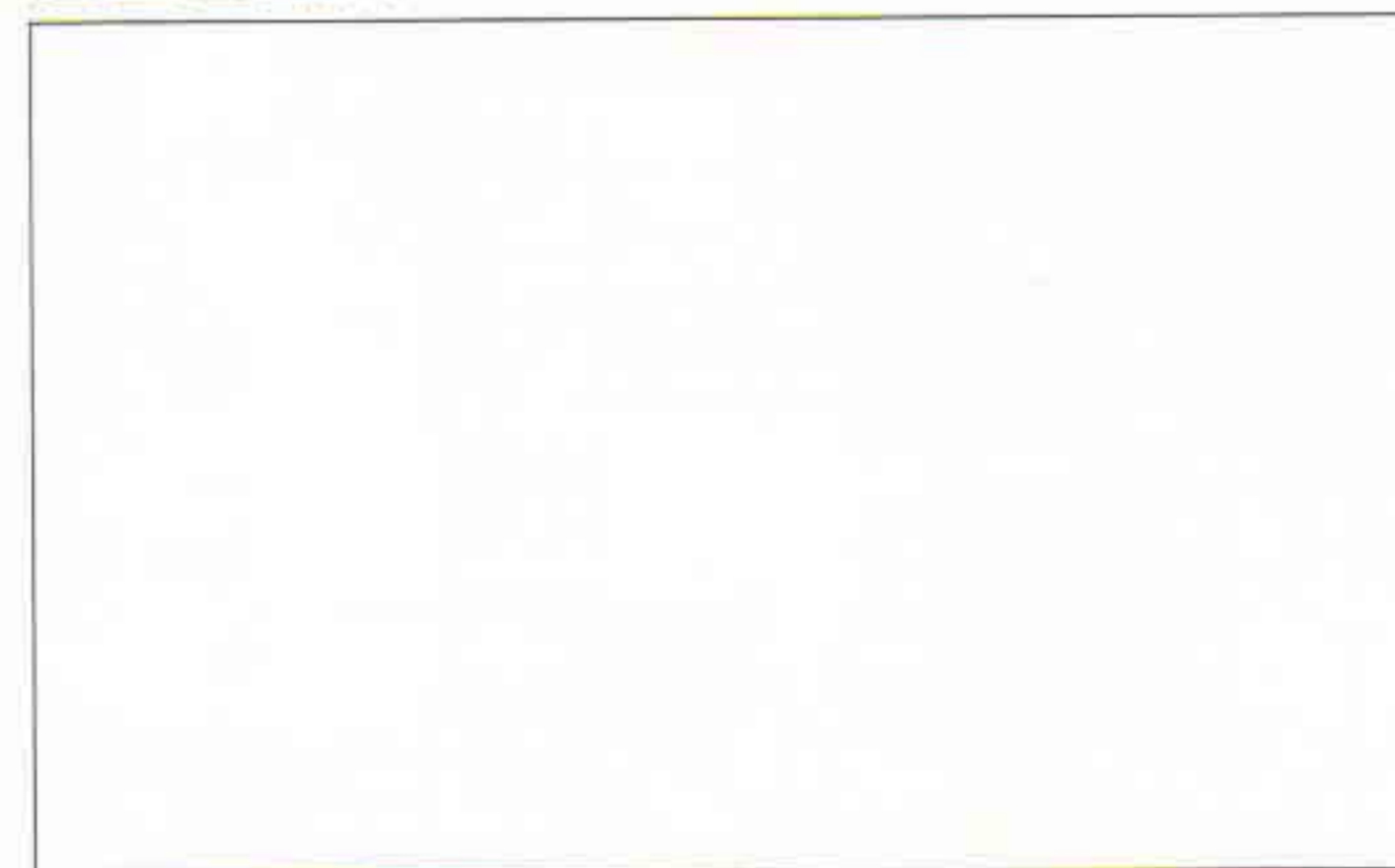
●本体仕様

名 称	電気コーヒードリャー (業務用) UBF-90
電 力	100V 50/60Hz
消 費 電 力 (W)	900W (定格電流 : 9.0A)
寸 法 (cm)	(幅) 21.5 × (奥行) 42 × (高さ) 65
重 量・約 (kg)	5.0kg
タンク容量・約 (L)	3.5L
最大抽出容量・約 (L)	1.9L / 1回
電 流 ヒ ュ ー ズ	15A
温度ヒューズ溶断温度	169℃
コ ー ド	2.0m

特定地域 (高山、極寒地など) において所定の性能が確保できないことがあります。

- ・ FLEXシリーズはユニマツトオフィスコのオリジナル製品です。・ 屋内専用ですので、屋外では使用になれません。また、直射日光や高温多湿の場所での設置はお避けください。
- ・ 記載内容は1998年7月現在のものです。・ 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

担当営業所



UNIMAT
OFFISCO CORPORATION

〒107-0062
東京都港区南青山2丁目12号14番
ユニマツト青山ビル

PRINTED IN JAPAN. '98-07

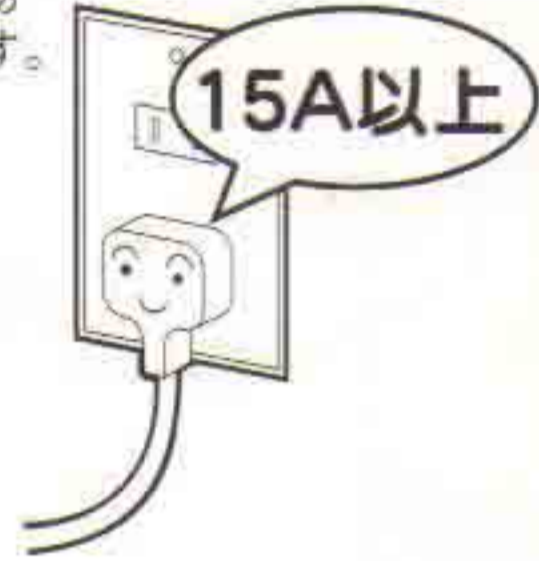
安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

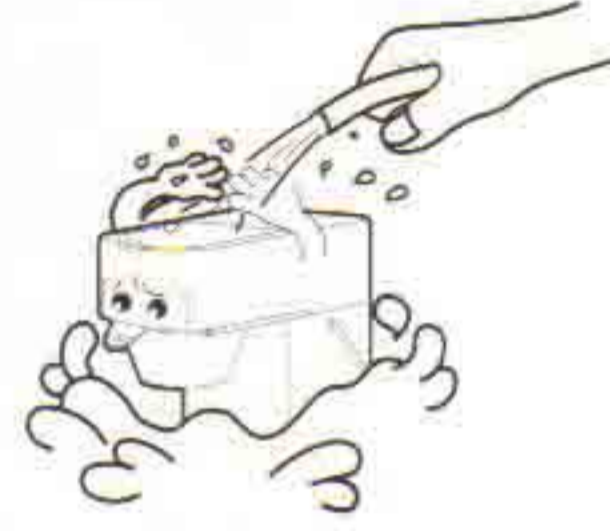
- コンセントは単独で使う。
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
 - 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



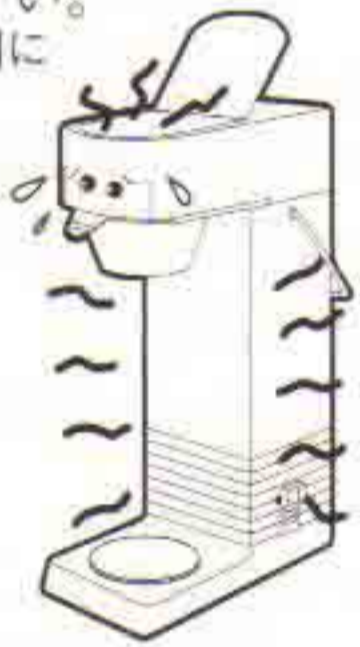
- 分解・改造をしない。
 - 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - 火災・感電・けがの原因となります。



- 水をかけない。
 - 水につけたり、水をかけないでください。
 - ショート・感電の恐れがあります。



- 空だきしない。
 - タンクに水が入っていない状態でスイッチを入れないでください。
 - 火災の原因になります。



- 移動時、さし込みプラグは抜く。
 - ブリューワー本体のコンセントを使用しているポット又はダブルウォーマーを移動する時は、さし込みプラグを抜いてください。
 - ブリューワー本体が転倒して熱湯が流出してやけどの恐れがあります。



- 抽出中はつぎ足しをしない。
 - コーヒーをポットからあふれさせないために、抽出中は水をつぎ足さないでください。
 - コーヒーが流れ出てやけどの恐れがあります。



- 抽出中はチャンバーを引き出さない。
 - コーヒー抽出中は絶対にチャンバーを引き出さないでください。
 - 途中で引き出すと熱湯が直接噴出しやけどをする危険があります。



- 抽出前に可動ふたは「OPEN」にする。
 - コーヒー抽出の前には絶対に可動ふたは「OPEN」にしてください。
 - コーヒーが流れ出てやけどの恐れがあります。



- さし込みプラグは清潔に。
 - さし込みプラグは、刃及び刃の取り付け面にホコリが付着している場合はよくふいてください。
 - 火災の原因になります。



ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

注意

人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

- 傷んだときは使用しない。
 - コードやさし込みプラグが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しないでください。
 - 感電・ショート・発火の原因となります。



- 不安定な場所で使用しない。
 - 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。
 - 火災の原因となります。



- 交流100V以外では使用しない。
 - 交流100V以外では使用しないでください。
 - 火災・感電の原因となります。



- コードは乱雑に扱わない。
 - コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり等しないでください。
 - 火災・感電の原因となります。



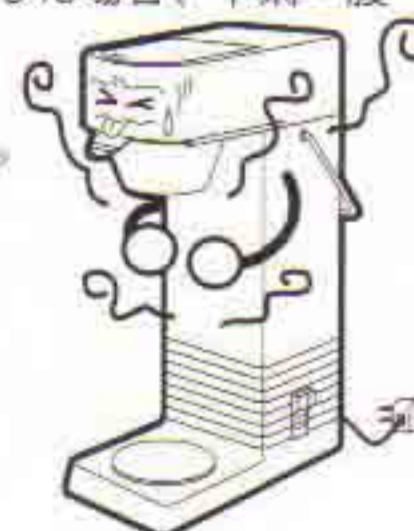
- 抜きさしはさし込みプラグを持って。
 - さし込みプラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端のさし込みプラグを持って引き抜いてください。
 - 感電やショートして発火することがあります。



- 長時間使用しない場合は、さし込みプラグを抜く。
 - 長時間使用しない場合は、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



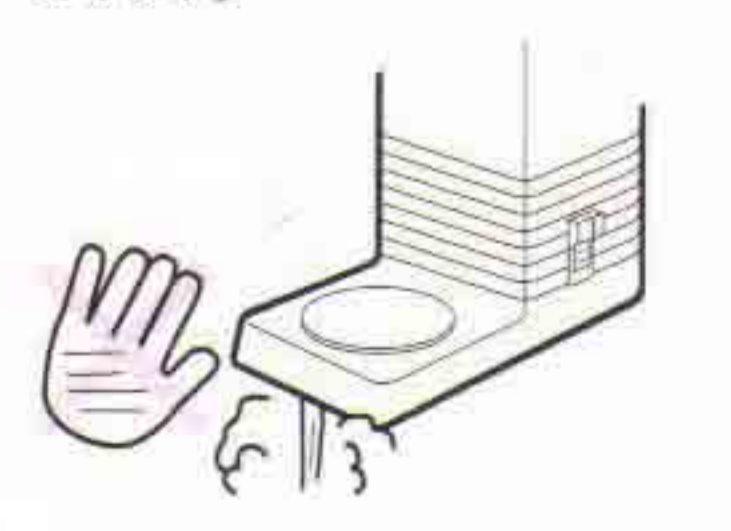
- 長時間通電していない貯湯タンクの水は使わない。
 - 長時間通電していない貯湯タンクの水は使わないでください。
 - 水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすことがあります。



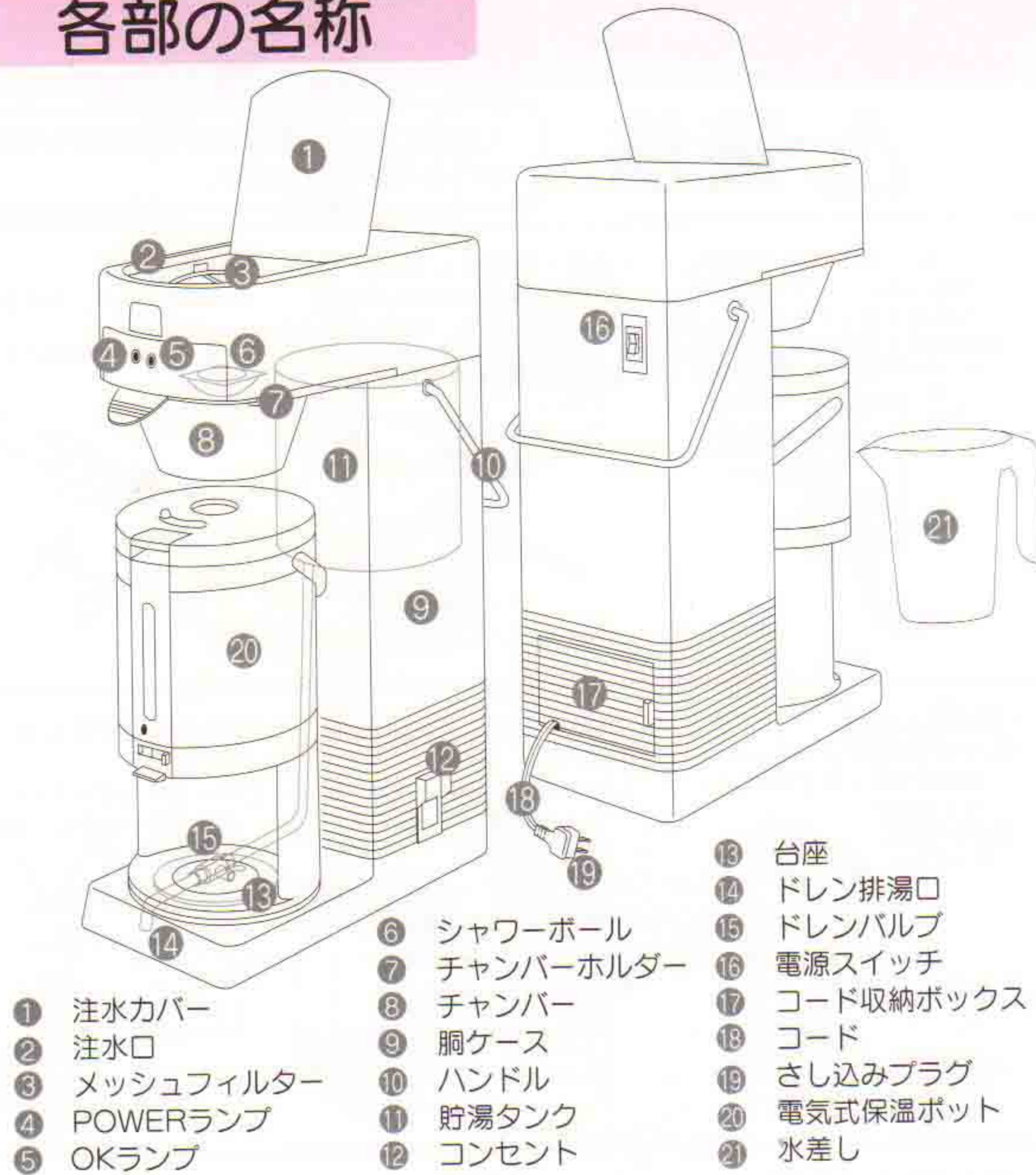
- ポットを正しい位置にセットする。
 - ポットをブリューワーにセットするときは、ベースの台座にポットを正しく置いてください。
 - やけどの原因になります。注湯口よりコーヒーがあふれてやけどの恐れがあります。



- 排湯時はドレン排湯口に触れるな。
 - 排湯時はドレン排湯口に触れないでください。
 - 熱湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



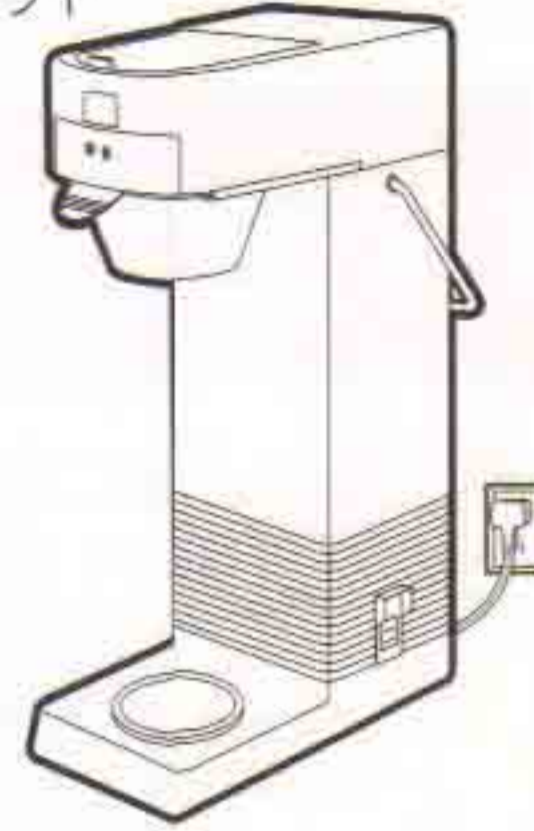
各部の名称



- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ① 注水カバー | ⑥ シャワーボール | ⑬ 台座 |
| ② 注水口 | ⑦ チャンバーホルダー | ⑭ ドレン排湯口 |
| ③ メッシュフィルター | ⑧ チャンバー | ⑮ ドレンバルブ |
| ④ POWERランプ | ⑨ 胴ケース | ⑯ 電源スイッチ |
| ⑤ OKランプ | ⑩ ハンドル | ⑰ コード収納ボックス |
| | ⑪ 貯湯タンク | ⑱ コード |
| | ⑫ コンセント | ⑲ さし込みプラグ |
| | | ⑳ 電気式保温ポット |
| | | ㉑ 水差し |

ご使用前の準備

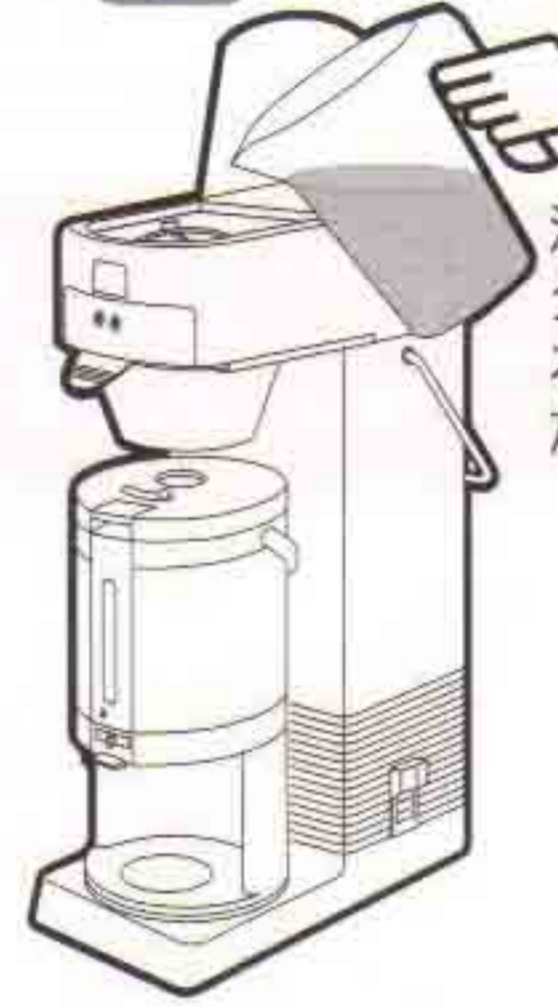
1 プリューワ本体のさし込みプラグをコンセントにさし込み、チャンバーをセットします。



2 ポットを正しい位置にセットし、可動ふたを「OPEN」にします。



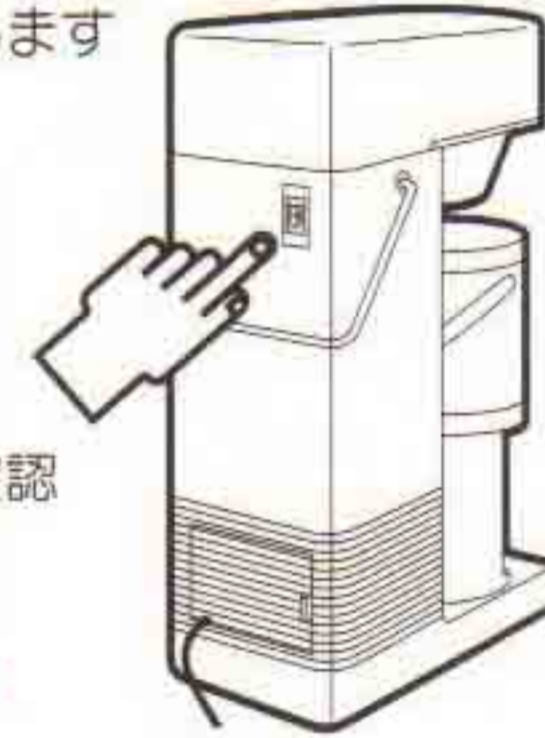
3 水差し約2杯分の水を、チャンバーから水が出るまで注水し貯湯タンクを満水にしてください。



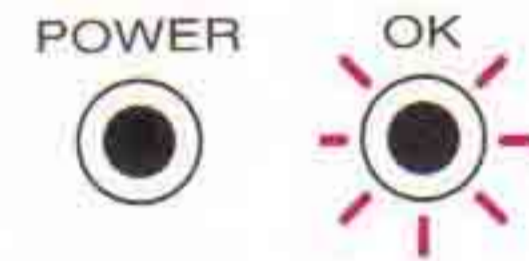
4

背面の電源スイッチをONにして、「POWER」ランプが点灯していることを確認します。

- 抽出温度に湯温が上がれば、約25分で「OK」ランプが点灯します。
- 「OK」ランプが点灯すると、準備完了です。ポット及びチャンバーにたまった水を捨て再びセットしてください。



「OK」ランプ(緑)を確認



活性炭フィルター使用時におけるメッシュフィルターの装着方法

活性炭フィルターを注水口にセットした後、メッシュフィルターを逆さにして、注水口のくぼみに合わせてはめ込みます。



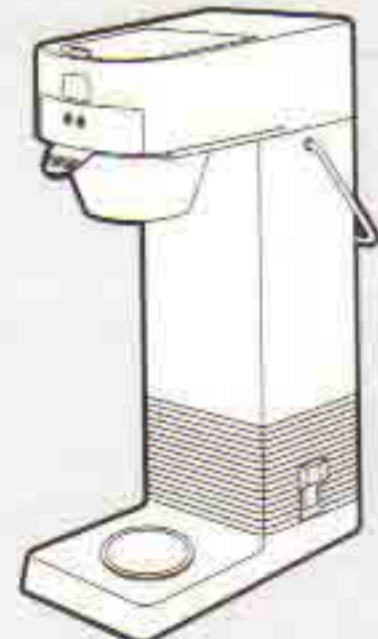
※活性炭フィルターはオプション装備です。

お手入れの方法

必ずさし込みプラグを抜いてからお手入れしてください。

■プリューワ本体

柔らかい布に水をひたし、硬くしぼってふいてください。汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませてふき、その後乾いた布でよくふきとってください。



■チャンバー

台所用中性洗剤と柔らかいスポンジで洗い、水でよく洗い流してください。

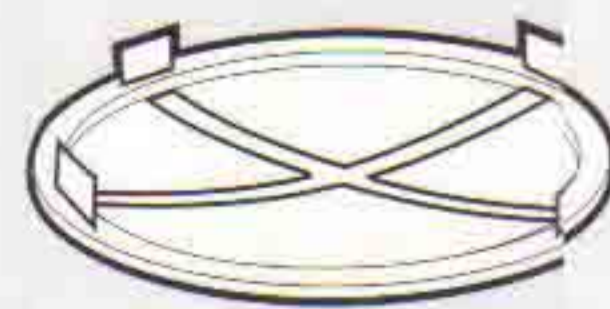
☆食器乾燥機は使わないでください。



■メッシュフィルター

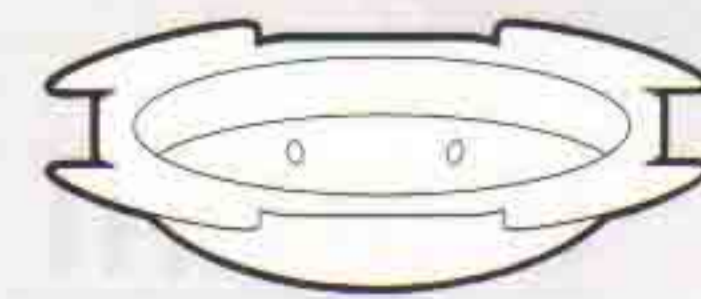
水洗いしてください。

☆洗剤や漂白剤は使用しないでください。



■シャワーボール

汚れがひどい場合、水にしみこませたスポンジで洗い、後は水ですすいでください。



■貯湯タンク

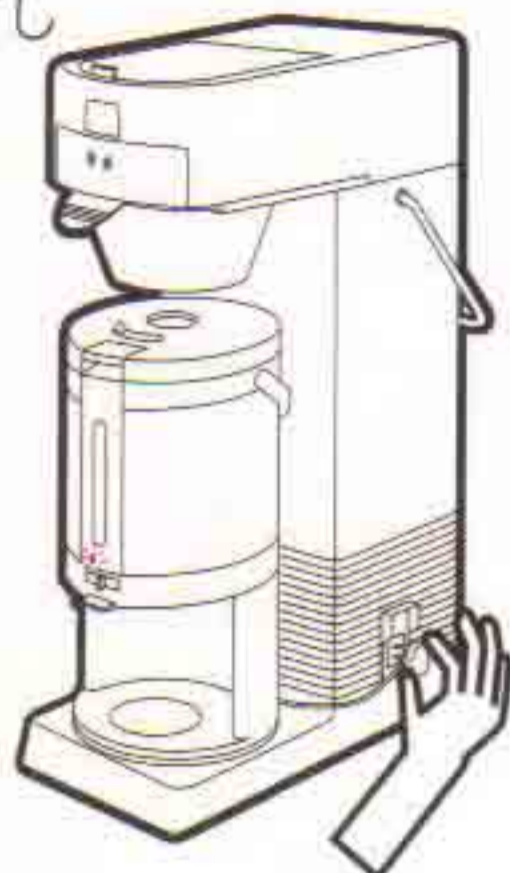
長時間使用されない場合は、さし込みプラグを抜いて、貯湯タンク内の湯を完全に排湯してください。

抽出方法

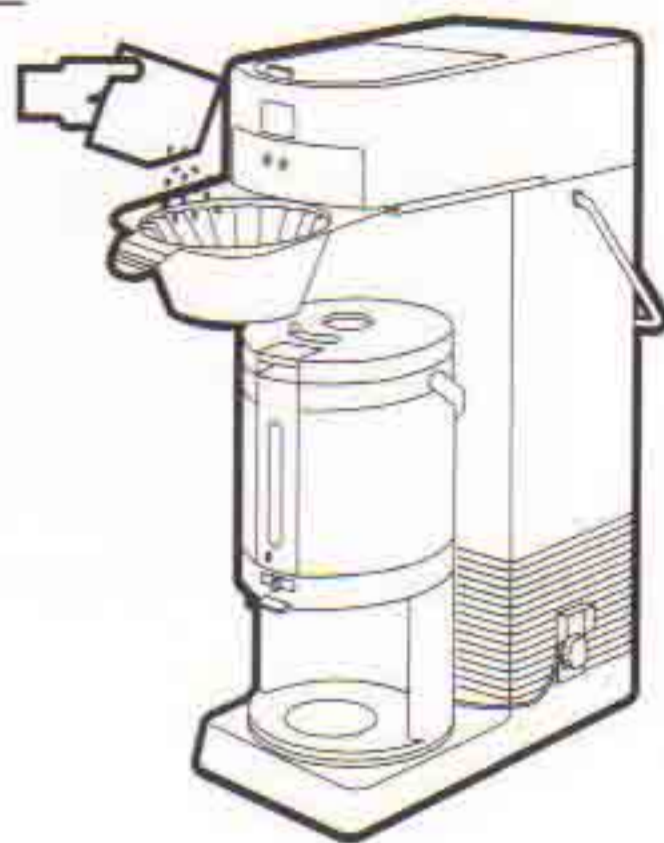
1 「OK」ランプ（緑）が点灯していると使用できます。



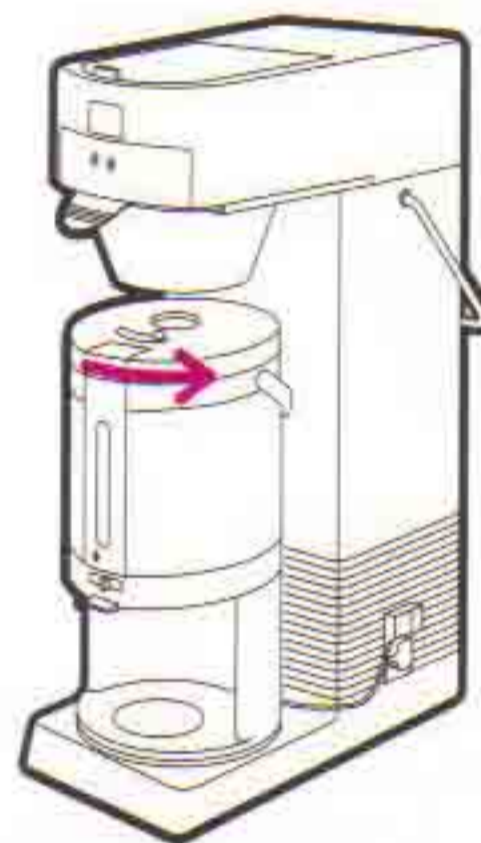
2 ポットのさし込みプラグをブリュワ本体のコンセントにさし込み「KEEP WARM」ランプが点灯していることを確認します。



3 チャンバーをロックする位置まで引き出し、チャンパーにフィルタをセットしてから、パックのコーヒーを入れ、チャンパーを戻します。



4 ポットの位置を確認し、可動ふたを「OPEN」にします。



5 水を注水口より注ぎます。（注水量が少ないと湯の出が悪くなる場合があります。）



6 抽出終了後「OK」ランプが再点灯したのち、ポットの可動ふたを「CLOSE」にします。

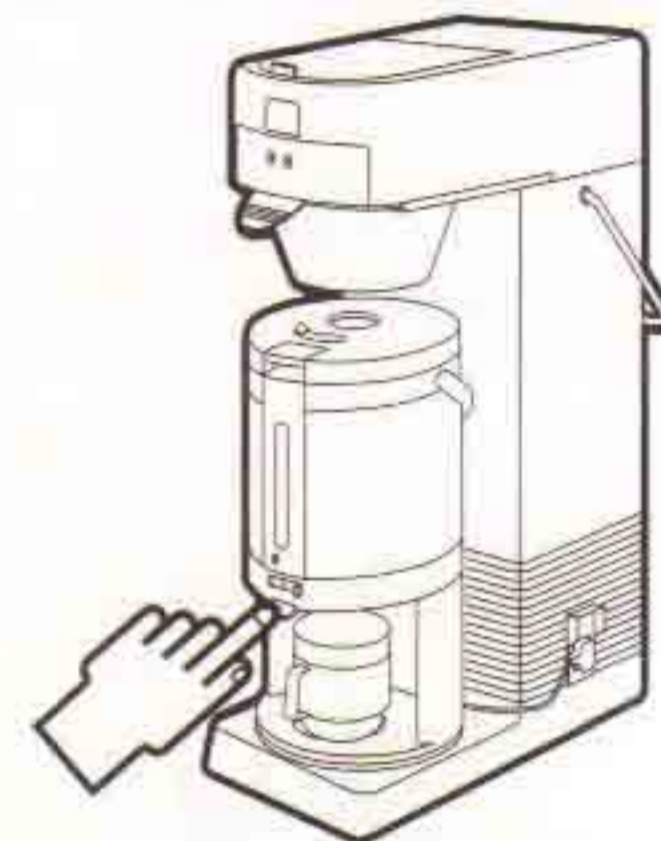


ポットのご使用方法

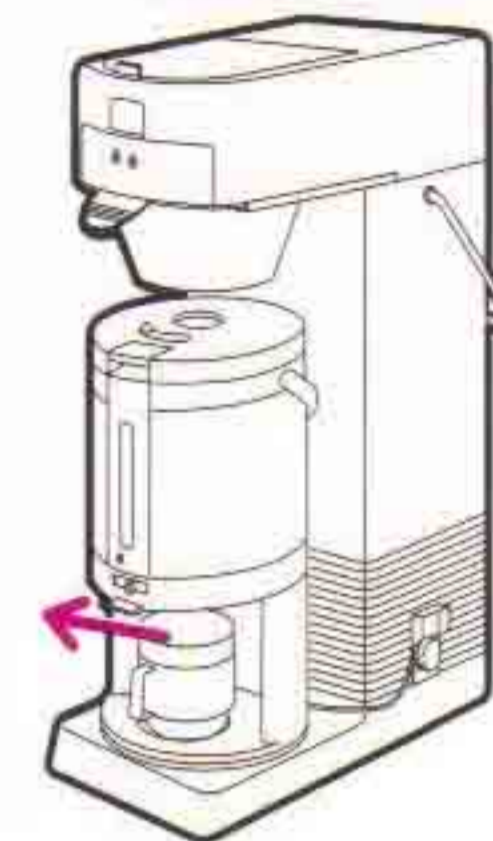
1 コップを指定の位置に置き、スライドロックノブを「UN LOCK」に合わせる。



2 抽出レバーを指先で押すと、注ぎ口よりコーヒーが出ます。



3 注ぎ終わったら必ずスライドロックノブを「LOCK」に合わせてください。



■FLEXポット専用取扱説明書もお読みください。

使用上のご注意

■フィルターに異物がたまるとコーヒーが出にくくなります。異物がたまっているときには、フィルターを取り外してスポンジなどできれいに洗ってください。

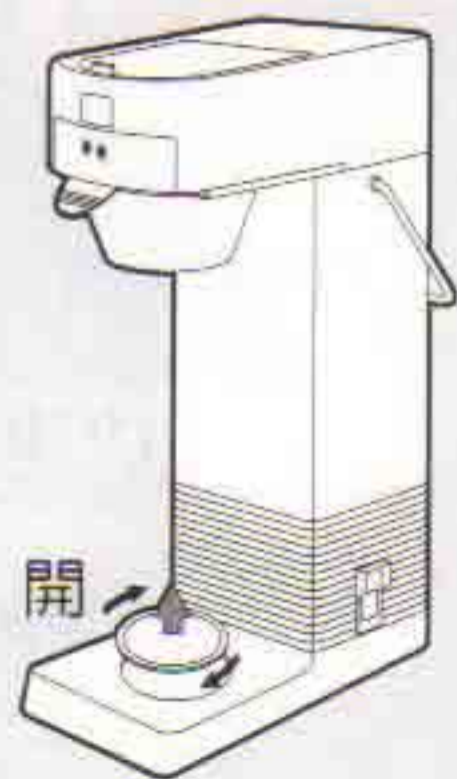


■注水口より牛乳、パックのコーヒー、お茶、などを入れて使用しないでください。
☆再使用できなくなります。

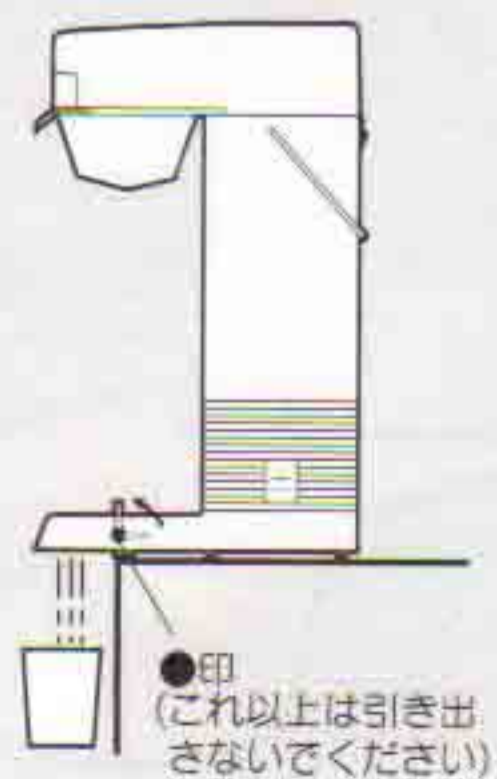


■排湯のしかた

1 台座を右に回してベースからはずします。



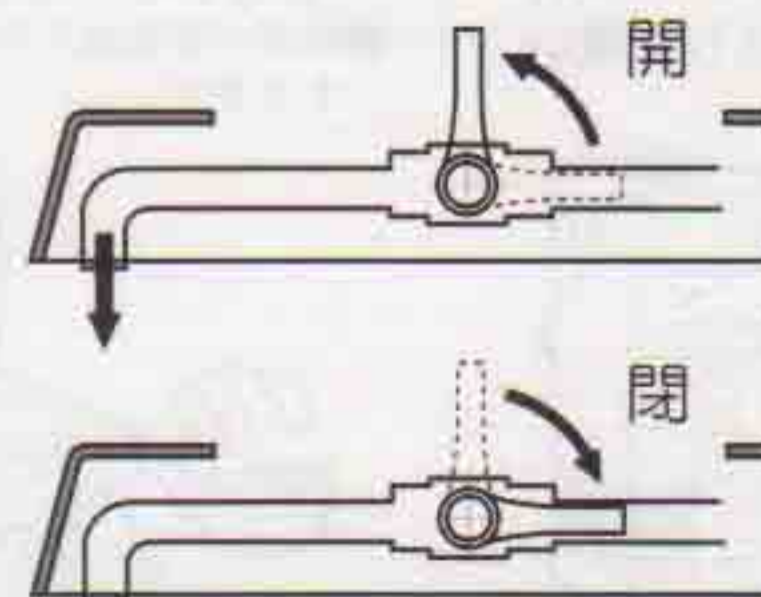
2 本体右側面の●印まで前に引き出し、ドレンレバーを手前に起こしドレンバルブを開にして、貯湯タンク内の湯を排湯してください。



3 ドレンバルブを閉にして注水口から水を入れて、満氷にしてください。

4 2 3 の操作を2~3回繰り返してください。

5 本体を前に傾けて、完全に排水してください。



6 ドレンバルブを閉にして台座をベースのくぼみに合わせ、左に回してはめこみ、本体を元の位置に戻してください。



ICE COFFEE COOLER

FLEX KDIC-01

アイスコーヒークーラー取扱説明書

この商品はアイスコーヒーの冷蔵専用です。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は大切に保管してください。
- 「安全上のご注意」は必ず、お読みください。



UNIMAT LIFE

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を示しています。よくお読みの上、必ずお守りください。

● 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を2つに区分しています



警告: 死亡や重症を負うおそれがある内容



注意: 軽傷を負うおそれや物的損害が発生するおそれがある内容

● お守りいただく内容を図記号で説明しています



してはいけない「**禁止**」の内容



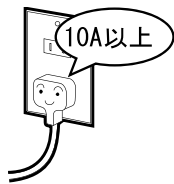
必ず実行していただく「**強制**」の内容

警告



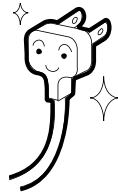
● コンセントは単独で使う。
□ 定格10A以上のコンセントを単独で使ってください。

- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



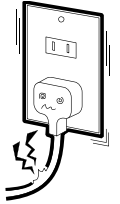
● さし込みプラグは清潔に。
□ さし込みプラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合はよくふいてください。

- 火災の原因になります。



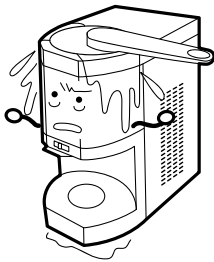
● 電源コードが傷んだときは使用しない。
□ コードやさし込みプラグが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しないでください。

- 感電・ショート・発熱・発火・不通電の原因となります。



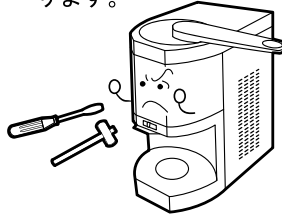
● 容器にコーヒーを入れすぎない。
□ 満水目盛り以上のコーヒーを入れないでください。

- コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。



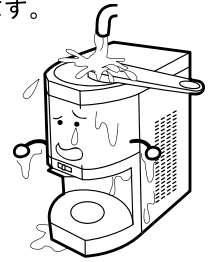
● 分解・改造をしない。
□ 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

- 火災・感電・けがの原因となります。



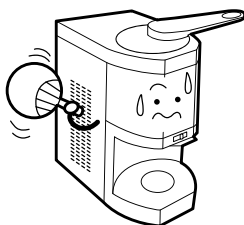
● 水をかけない。
□ 水につけたり、水をかけないでください。

- ショート・感電の恐れがあります。



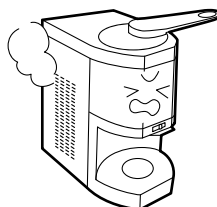
● 高温の場所では使わない。
□ 周囲温度が35℃以上になる場所では使用しないでください。

- 感電・火災の原因になります。



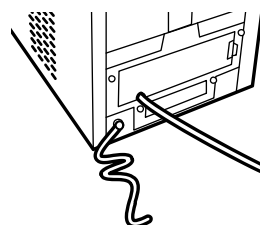
● 異常時には使用をやめる。
□ 煙が出たり、変なおい、音がする時は、コンセントを抜いて使用をやめてください。

- 火災の原因となります。



● アースを接続する。
□ 付属のアース線を必ず接続してください。

- 故障、漏電時に感電する恐れがあります。



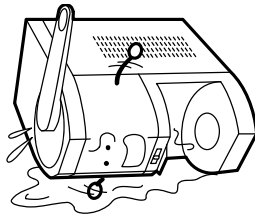
⚠ 注意



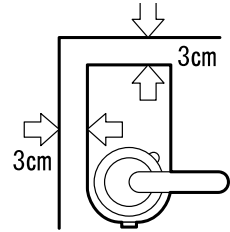
- 不安定な場所で使用しない。
- ☐ 機器の重量は15kg（満水時）ありますので、水平で丈夫な台の上に設置してください。
- 振動したり故障の原因になります。



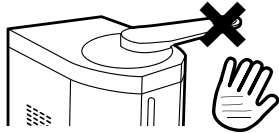
- 横倒しにしない。
- ☐ 機器を横倒しにしないでください。
- 故障の原因となります。



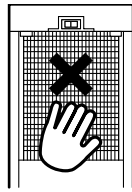
- すき間をあけて設置する。
- ☐ 風通しのよいところに設置し、背面、側面共に3cm以上離してください。
- 故障、火災の原因となります。



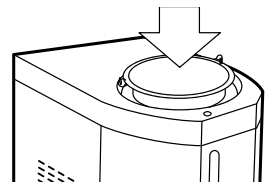
- コーヒーを入れた直後にウイングセットに触らない。
- ☐ 熱いコーヒーを入れた直後はウイングも熱くなっているので触らないでください。
- 火傷をする恐れがあります。



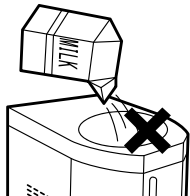
- 機器後部のフィン部に触れない。
- ☐ 機器後部のフィンに直接手を触れないでください。
- けがをする恐れがあります。



- 専用容器をセットする。
- ☐ 専用容器を奥まで押し込んでセットをしてください。
- ショート・感電の恐れがあります。



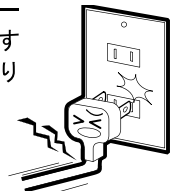
- コーヒーの冷却以外には使わない。
- ☐ コーヒーの冷却以外の用途には使用しないでください。
- 腐敗やコックのつまりなどの故障の原因になります。



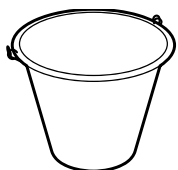
- 電源コードを乱雑に扱わない。
- ☐ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり等しないでください。
- 火災・感電の原因となります。



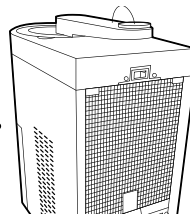
- 抜きさしはさし込みプラグを持って。
- ☐ さし込みプラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端のさし込みプラグを持って抜いてください。
- 感電やショートして発火することがあります。



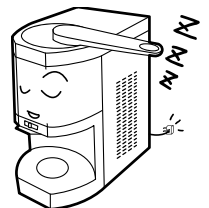
- 専用容器は乱雑に扱わない。
- ☐ 専用容器をぶついたり、落としたりして変形させないでください。
- 冷却性能の劣化につながります。



- フィルターはこまめに掃除をする。
- ☐ フィルターにほこりがたまらないようこまめに掃除をしてください。
- 本体内部が熱くなり、故障の原因となります。



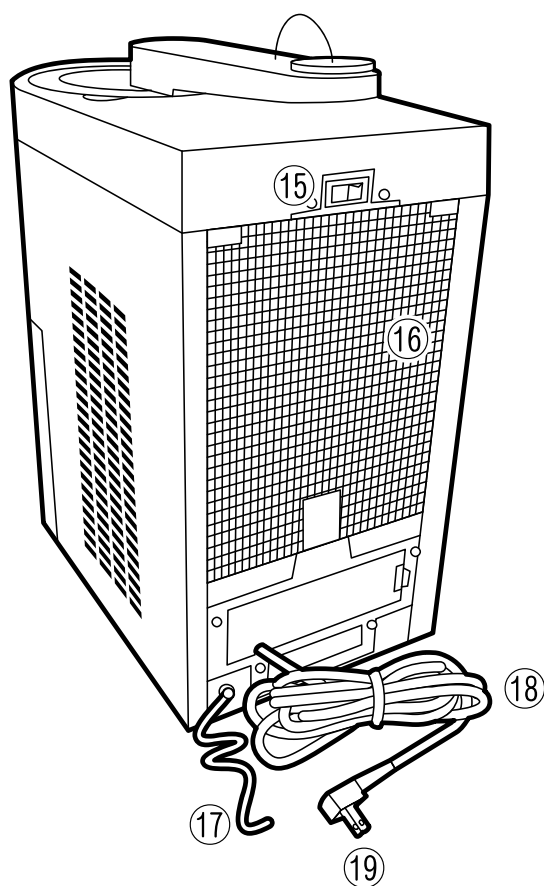
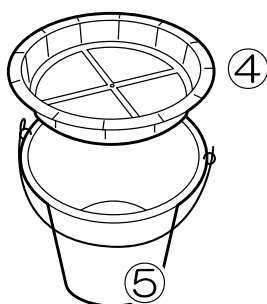
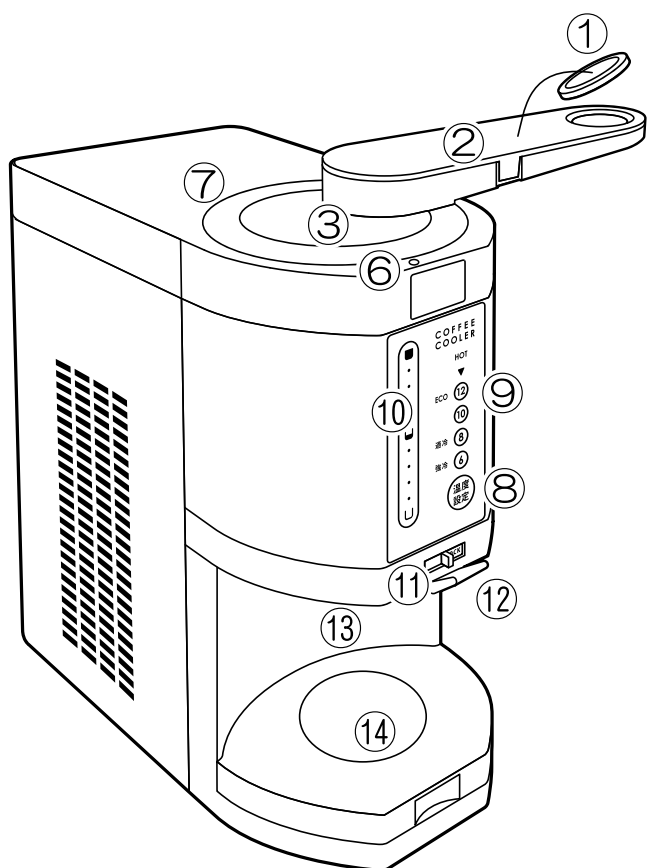
- 使用時以外はさし込みプラグを抜く。
- ☐ 使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜いてください。
- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



お願い

- 本体の上に物をのせないでください。
- 電源コードのさし込みプラグの刃部にかぶせてあるチューブは保管をし、電源コードを収納するときにはさし込みプラグの刃部にかぶせて収納をしてください。
- 電源スイッチを切った後は3分以内に電源を入れしないでください。

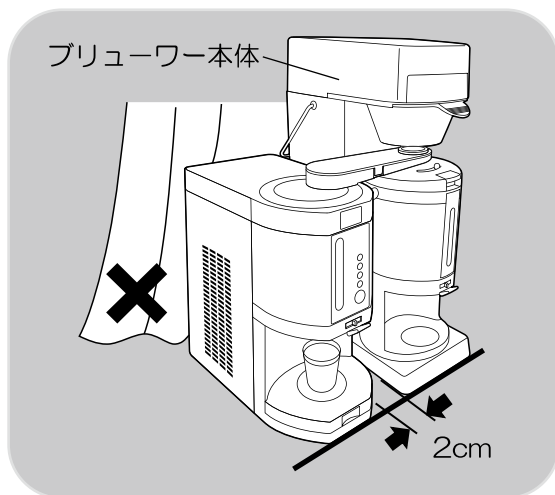
各部の名称



- ① ウイングキャップ
- ② ウイングカバー
- ③ ウイング
- ④ フィルター
- ⑤ 専用容器
- ⑥ 水位管キャップ
- ⑦ トップカバー
- ⑧ 温度設定ボタン
- ⑨ 温度表示ランプ
- ⑩ 容量表示ゲージ

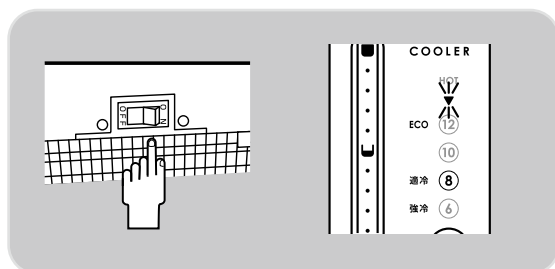
- ⑪ スライドロックノブ
- ⑫ 抽出レバー
- ⑬ 抽出口
- ⑭ トレイ
- ⑮ 電源スイッチ
- ⑯ 吸気フィルター
- ⑰ アース線
- ⑱ コード
- ⑲ さし込みプラグ

ご使用前の準備

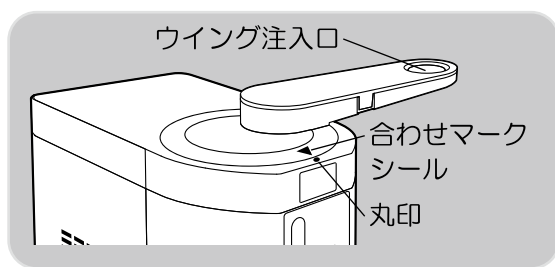


- 1 ブリューワー本体と平行に2cmの間隔をあけて設置します。

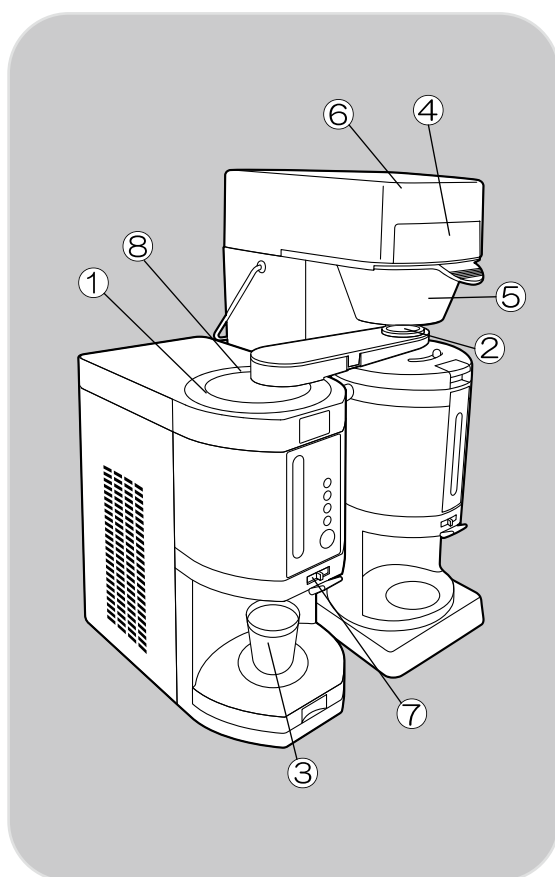
カーテンなど空気の流れを遮る恐れのあるものの前には絶対に設置しないでください。また、本体背面から壁までは3cm以上離してください。



- 2 さし込みプラグをコンセントにさし込み本体背面の電源スイッチをONにして、温度表示ランプが点灯することを確認してください。

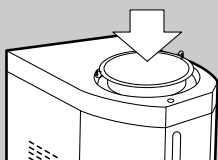


- 3 ウイング注入口をブリューワー本体のチャンバー抽出口に合わせます。その位置で、トップカバーの丸印に合わせてウイングに「合わせマークシール」を貼り付けてください。



- 4 クリーンアップを行います。
 - ①クリーンアップ前に専用容器、フィルターがセットされているか必ず確認してください。
 - ②ウイング注入口をチャンバー抽出口に合わせてセットします。
 - ③排湯用カップを指定位置に置きます。
 - ④ブリューワー本体のOKランプ（緑）が点灯していることを確認します。
 - ⑤ブリューワーのチャンバーをセットします。
☆ペーパーフィルターやコーヒーは入れないでください。
 - ⑥適量の水をブリューワーの注水口より注ぎます。
☆注水量が少ないと湯の出方が悪くなることがあります。
 - ⑦抽出レバーを押し続けてタンク内にたまったお湯を排湯用カップに完全に排出します。
 - ⑧ウイングセット（ウイング + ウイングキャップ + ウイングカバー）を本体からはずし、専用容器内に残ったお湯を柔らかい布で拭き取ってください。
☆お湯が残ると容量表示ゲージのガラス管に入り、コーヒーが容量表示ゲージに廻りません。

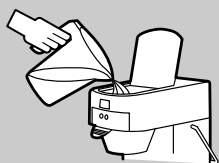
ご使用方法



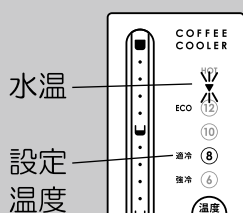
- 1 専用容器を強く押し込み、その上にフィルターをセットしてください。



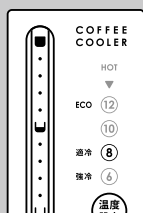
- 2 ウイング注入口をチャンバー抽出口に合わせてセットします。



- 3 ブリューワー本体に水をそそぎ、コーヒーをアイスコーヒークーラーに注入します。



- 4 コーヒーが専用容器に入り水温が上がると、現在の水温の温度表示ランプが点滅します。設定温度は点灯しています。



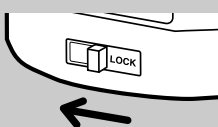
- 5 水温が設定温度に到達すると、温度表示ランプの点滅が点灯に変わります。



- 6 コップを指定位置に置き、スライドロックノブを『UN LOCK』にします。背の高いコップを使用するときは、トレイを外して使用してください。



- 7 抽出レバーを指先で押すと、抽出口よりコーヒーが出ます。



- 8 注ぎ終わったら必ずスライドロックノブを『LOCK』に戻してください。

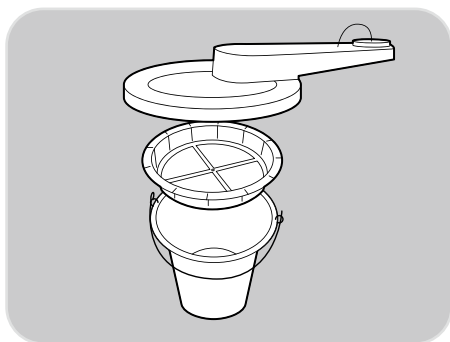


- 9 温度設定ボタンを押すとコーヒーの温度を変えることができます。8 ⇒ 10 ⇒ 12 ⇒ 6 ⇒ 8の順に変わります。(設定温度は記憶しているので、電源スイッチをOFFにしても変わりません)

お手入れの方法

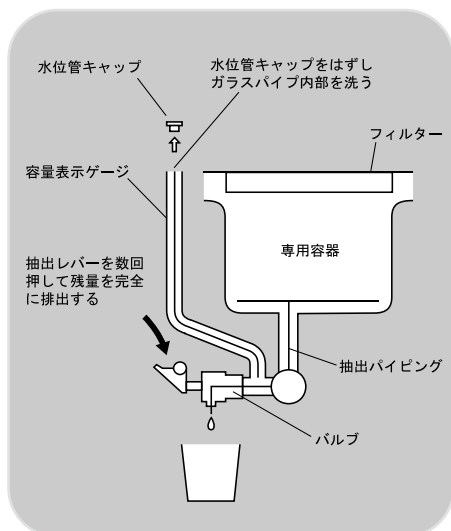
必ずさし込みプラグを抜いてからお手入れしてください。

- ご使用前、また一日の終わりには専用容器に残ったコーヒーを確実に捨ててから湯通し洗浄をしてください。
- コーヒーを残したままにしておくと腐敗したり、バルブつまり等の故障の原因となります。
- 湯通し洗浄の方法はクリーンアップの手順と同じです。



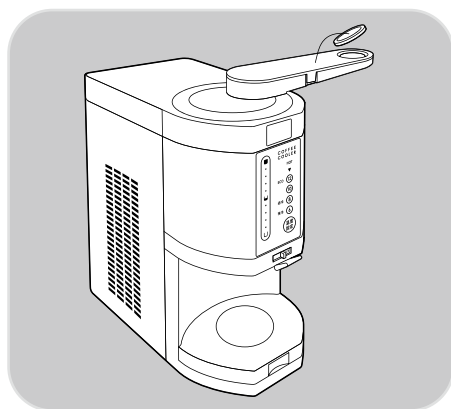
■ウイングセット・フィルター・専用容器

ウイングセット・フィルター・専用容器は毎日水洗いをしてください。ウイングはウイングカバーを外して内部もよく洗ってください。



■容量表示ゲージ・バルブ

容量表示ゲージは水位管キャップを外しブラシで管の内側をよく洗ってください。左図に示すところにコーヒーが残りやすいのでご注意ください。



■アイスコーヒークーラー本体

本体の清掃は台所用中性洗剤とスポンジで汚れを落としたあと、よくしぼったふきんで拭き取ってください。側面の孔に洗浄液が入り込まないように注意をしてください。

仕様

名称	アイスコーヒークーラーFLEX
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	240W/230W (定格電流: 3.0A/2.4A)
寸法	(幅)220 × (奥行)400 × (高さ)445(mm)
重量	約13kg
タンク容量	約2200cc
冷却能力	約35分(82°C→8°C 1900cc)
圧縮機	密閉型電動圧縮機
冷却器	コイル外巻型タンク
凝縮器	フィンアンドチューブ (強制冷却式)
ファンモーター	隈取式モーター
温度調節	電子式
電流ヒューズ	6.3A
コード	2.5m

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんな場合	状況確認又は故障内容	対応
電源スイッチをONにしても動作しない	さし込みプラグがぬけていませんか?	それでも動作しなければ営業担当者へご相談ください。
水漏れがする	パッキンの不良、チューブの抜け	営業担当者へご連絡ください。
	専用容器がきちんとセットされていない	専用容器を強く押し込んでください。
『6』ランプのみ点滅する	サーミスタの故障 サーミスタリード線の断線	営業担当者へご連絡ください。
『8』ランプのみ点滅する	サーミスタの故障 サーミスタリード線の短絡	営業担当者へご連絡ください。

- ・ FLEXシリーズはユニマットライフのオリジナル製品です。
- ・ 屋内専用ですので、屋外では使用になれません。また、直射日光や高温多湿の場所での設置はお避けください。
- ・ 記載内容は2014年6月現在のものです。
- ・ 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。



〒107-0062
東京都港区南青山2丁目12号14番
ユニマット青山ビル

PRINTED IN JAPAN. '14-06